

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

ロボット支援胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術の有用性の検討		
1. 研究の対象および研究対象期間 適応基準：昭和大学病院において食道悪性腫瘍手術を受けた患者さん 情報集積の期間：2000年1月1日～2024年12月31日		
2. 研究目的・方法 2018年度の診療報酬改訂において、食道癌はda Vinci等を用いたロボット支援下内視鏡手術の対象と認めりましたが、通常の内視鏡手術と比較した高いレベルでの有用性は提示されておりません。新規に導入するロボット支援下食道癌根治術のメリット、デメリットを現行の胸腔鏡下食道癌根治術と比較検討することが目的です。		
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年12月31日まで		
4. 研究に用いる試料・情報の種類 昭和大学食道がんセンターにおいて、食道癌手術を受けた患者診療録の中から、患者の年齢、性別、身長、体重、既往、ASA、術前の生検組織の病理組織、術中出血量、手術時間、術中合併症、術後合併症、術後経過、術後在院日数、摘出標本の病理診断、病期、生存率、再発率など		
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません		
6. 研究組織		
研究責任者		
昭和大学食道がんセンター	医師・教授	大塚耕司
分担研究者(昭和大学内)		
昭和大学食道がんセンター	医師・特任教授	村上雅彦
昭和大学食道がんセンター	医師・准教授	五藤哲
昭和大学食道がんセンター	医師・講師	有吉朋丈

昭和大学食道がんセンター	医師・講師	山下剛史
医学部外科学講座消化器・一般外科学部門	医師・助教	斎藤祥
医学部外科学講座消化器・一般外科学部門	医師・助教	広本昌裕
医学部外科学講座消化器・一般外科学部門	医師・助教	茂木健太郎
医学部外科学講座消化器・一般外科学部門	医師・助教	岸本裕

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学食道がんセンター 氏名：大塚耕司

住所：東京都品川区旗の台 1・5・8

電話番号：03-3784-8256

研究責任者：

所属：昭和大学食道がんセンター 氏名：大塚耕司